

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	26	-	1	基本事務事業名	地籍調査事業	事務事業名	地籍調査事業	公的関与	1	シート作成日	平成24年6月21日			
	部局名	建設部		課名	地籍調査課		主務課長名	高橋弘一		シート作成者名	田上義彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 調和のとれた土地利用の推進				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		昭和 46 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3) 地籍調査事業の推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		国土調査法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内の地籍調査未実施地区											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市内の地籍調査未実施地区の調査を完了										
				今年度	阿波市吉野町柿原字植松乙地区の一筆地調査及び測量並びに吉野町柿原字植松甲地区の原図作成、地籍測定、地籍簿の作成										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	一筆地調査(境界立会、土地所有者の調査等)														
	測量(地籍図根点・図根点多角測量、地籍細部並びに一筆地測量)														
	地籍図及び地籍簿の作成														
	地権者による閲覧														
	法務局への送りこみ														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標					
	筆数		平地 800筆		筆		目標	400	500	800	完了				
							実績	400	500						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	6	農林水産費	項	2	農地費	目	4	国土調査費
			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	1,520 千円		1,395 千円		5,920 千円								
		県支出金	760 千円		697 千円		2,960 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	760 千円		698 千円		2,960 千円								
		計(A)	3,040 千円		2,790 千円		11,840 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	4.000 人	24,503 千円	4.000 人	24,178 千円	4.000 人	23,845 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		27,543 千円		26,968 千円		35,685 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	市以外の実施地区はなく、また平地部の未調査地区は、旧吉野町地区だけなので緊急を要します。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	災害復旧・復興の遅れの解消や公共用地の適正管理の必要性、市の課税の公平性に幅広く役立っています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	事業の達成率は100%で、十分に目標を達成しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	年間500筆程度の調査筆数は適量で、効率よくできている。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	● 拡大・充実 ○ 現状維持		○ 方法改善	○ 民間委託等	● 拡大・充実 ○ 現状維持		○ 方法改善	○ 民間委託等				
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	阿波市総合計画に基づいて遅延地区のないように調査を進め、尚一層の事業進捗率の向上を図るために、これまでの実施手段を変更し、平成24年度から一筆地調査の業務委託を行います。以前に比べ、予算は増額しますが、事業進捗率の向上が見込め、調査年数も短縮することができるため、継続して行うことが必要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	計画地区を確実に完了し、事業の重要性を周知して住民に理解を求めていきます。					地籍調査事業の成果は、行政機関のみならず重要性が認識されており、未実施区域について積極的に推進を図ってください。							
委員会指摘事項													